

会 告

◀ 土木学会・その他行事案内 ▶

月 日	行 事	備 考
8月15日(土)	第1回衛生工学講演討論会論文募集締切	8号 3ページ参照
8月17日(月)～19日(水)	コンクリート講習会(北海道支部)	8号 9 "
8月20日(木)～21日(金)	夏期講習会・見学会(西部支部)	8号 9 "
8月24日(月)～29日(土)	第2回国際水質汚濁研究会議	8号 3 "
8月27日(木)～28日(金)	昭和39年度夏期講習会	8号 2 "
9月4日(金)～5日(土)	災害科学に関する合同総合講演会	5号 6 "
9月7日(月)～8日(火)	第14回応用力学連合講演会	8号 6 "
9月9日(水)～10日(土)	第8回材料試験連合講演会	8号 6 "
9月17日(木)	クイ打ち作業標準説明会(札幌会場)	8号 8 "
9月29日(火)	同 上 (名古屋会場)	8号 8 "
9月30日(水)	第11回橋梁・構造工学研究発表会原稿締切	8号 4 "
9月30日(水)	国土開発映画コンクール作品募集締切	8号 1 "
10月1日(木), 2日(金)	秋季見学会(北海道支部)	8号 9 "
10月15日(木)	東洋レーヨン科学技術賞および科学研究助成候補締切	8号 4 "
10月20日(火)	第9回水理講演会講演申込締切	8号 5 "
10月27日(火)～31日(土)	第7回標準化全国大会	7号 7 "
11月6日(金)	土木学会創立50周年記念式典・祝賀会	} 8号 綴込
7日(土)	" 記念講演会	
8日(日)～10日(火)	" 見学会	
11月15日(日)	関西支部年次学術講演会	8号 10 "
11月16日(月)～19日(木)	第6回アイソトープ会議	5号 5 "
11月26日(木)	日本 A.C.I. 構造用軽量コンクリートシンポジウム	8号 8 "

国土開発映画コンクール作品募集について

土木学会では、本年11月創立50周年を迎えるに当って、その記念事業の一環として「国土開発映画コンクール」を計画いたしました。

最近わが国の国土開発は、技術改新の名に恥じず、長足の進歩を遂げております。映画のもつ宣伝力によって、この技術発展のあゆみを広く一般にPRしたいと存じ、映画コンクールを催す次第です。ふるってご応募のほどお願いいたします。なお入選作品は全国主要都市で巡回上映する予定であります。

国 土 開 発 映 画 コ ン ク ー ル 要 領

- 1) 内 容：国土開発に関し、土木技術を主としたPRおよび記録映画
- 2) 規 格：16mm カラートーキー(上映時間20分以上)、既製作の作品でも未公開のものならよろしい。
- 3) 審 査：土木学会内、映画審査委員会 各賞状ならびに賞品
- 4) 賞 状：1等3編、2等2編、3等3編
- 5) 発 表 会：1964年10月30日頃(東京都内) なお、入選作品は全国主要都市で巡回上映する予定
- 6) 締 切：1964年9月30日
- 7) 申 込 先：社団法人 土木学会 宛

第 2 回 国際水質汚濁研究会 議 開 催

先に本誌でお知らせ致しましたように標記の会議はつぎの日程で行なわれますので多数ご参加下さるようご案内いたします。なお、本会議の発表論文題目ができておりますのでご希望の方は下記事務局へご連絡下さい。

1. 主催団体：日本水産学会・日本海洋学会・日本衛生学会・日本鉱業会・化学工学協会・土木学会
2. 会議開催地：東京都千代田区平河町2の6 日本都市センター
3. 開催期日：1964年8月24日(月)～8月28日(金)
4. プログラム：1964年8月24日9時30分より開会式
 1964年8月24日14時～17時～8月28日9時～12時まで48編の主論文発表および討議
 1964年8月28日14時より閉会式
 1964年8月29日9時より見学会(都内下水道処理場、浄水場、工場等)

上記の討議はつぎの3部門に分けて行なわれます。

- I 淡水河川の自浄作用と汚濁の漁業におよぼす影響
 - II 下水および産業排水の処理
 - III 汚濁の海洋環境におよぼす影響の各 Section ごとに16編の主論文および主論文1編に対して2～3編の討議論文の発表があり、その後 Floor discussion が行なわれる。討議発表および討議は日、英、仏語で同時通訳される。
5. 費用：会議参加費 7200円(前刷代金) 見学会費 750円
 6. 事務局：東京都千代田区平河町2の6 日本都市センター内(電 261-5501 内線 135)
 国際水質汚濁研究会運営委員会事務局長 西田武雄

第 7 回 地震工学研究発表会 開 催

例年の通り、土木学会耐震工学委員会では、下記により標記研究発表会を開催いたしますので、多数ご参加下さい。

1. 日 時：1964年10月
 2. 場 所：土木学会会議室
 3. 前刷原稿締切：8月31日(月)
- 講演内容がわかるように講演概要はオフセット印刷とします。原稿はなるべく研究の考え方を主とし、原稿の長さは1題目2ページ以内(図表を含み 約2800字)を所定の原稿用紙にスミ書きにして下さい。特に超過する場合は、超過2ページまでは1000円の実費を原稿提出の際に添付願います。原稿の採否は、土木学会耐震工学委員会にご一任下さい。なお、講演時間は15分～20分(質問時間を含まず)の予定です。

第 1 回 衛生工学講演討論会 論文 募 集

土木学会衛生工学委員会では、本年度より毎年一定のテーマを決めて講演討論会を開催することになりました。本年度は、下記により開催いたしますので、論文提出希望者はふるってご応募下さい。

1. 主 催：土木学会衛生工学委員会
2. 期 日：1964年11月中旬
3. 会 場：東 京
4. 論文内容：下水の生物処理(汚泥をふくむ)に関する研究
5. 申込方法：8月15日(土)までに、B5判用紙1枚に、論文題目、研究者氏名(共同研究の場合は講演者に○印を付ける)、勤務先、職名、連絡先を明記し、講演概要(400字程度)を付して、土木学会衛生工学委員会宛お申込み下さい。
6. 講演原稿：9月末日までに400字詰原稿用紙20枚以内(図、表を含む、写真は印刷不能)にご執筆のうえご提出下さい。
7. 採 否：論文の採否は衛生工学委員会にご一任下さい。
8. 懇 親 会：当日講演討論会終了後、懇親会を開催いたします(会費500円)。

第 11 回 海 岸 工 学 講 演 会 開 催

第 11 回海岸工学講演会は 11 月 26~27 の両日別府市において開催することになりました。多数ご参加下さるようお願い致します。

1. 日 程：1964 年 11 月 26 日（水）～27 日（木）予定
2. 講演原稿締切：1964 年 8 月 15 日（土）
3. 申 込 先：東京都新宿区四谷一丁目 土木学会海岸工学講演会係

構造物、特に高層長大スパン構造に加わる 外力と構造設計に関する研究発表会論文募集

（第 11 回 橋梁・構造工学研究発表会）

今年度は、下記要項により、標題の研究発表会を開催いたします。論文提出希望者は、ふるってご応募下さい。

1. 共 催：日本学術会議——橋梁・構造工学研究連絡委員会、土木学会、日本建築学会
2. 日 時：1964 年 11 月 27 日（金）
3. 会 場：東 京
4. 募集規定：
 - (1) 論文内容：前年度本研究発表会に引き続き、近年注目をあびつつある、高層ならびに長大スパン構造につき、それらに働らく外力とその構造設計に関する研究
 - (2) 申込方法：9 月 30 日（水）締切、B5判適宜用紙、1 枚に論文題目、研究者氏名（共同研究の場合は講演者に○印を付ける）、所属学会、勤務先、職名、西暦生年月日、連絡先を記し、下記原稿を添えて申込んで下さい（両学会会員以外は土木学会に）。
 - (3) 原 稿：400 字詰原稿用紙 24 枚以内（図表、写真を含む）
 - (4) 採 否：日本学術会議——橋梁・構造工学研究連絡委員にご一任下さい。
 - (5) そ の 他：発表会終了後、適宜論文を指名、欧文原稿の提出を依頼し、海外に配布する予定。

東洋レーヨン科学技術賞および科学技術研究助成候補推薦について

標記の件につき財団法人 東洋レーヨン科学振興会より照会がありましたので詳細は土木学会総務課へご連絡下さい。

科学技術賞候補者

1. 候補者の対象：① 学術上の業績が顕著なもの ② 学術上重要な発見をしたもの ③ 重要な発明をして、その効果が大きいもの ④ 技術上重要な問題を解決して、技術界に貢献するところが大きいもの
2. 科学技術賞：本賞金メダル・副賞 250 万円（2 件以内の予定）
3. 応募方法：所定の用紙（学会にあり）に必要事項を記載して、土木学会あてご送付下さい。
4. 締切期日：1964 年 10 月 15 日までに土木学会あてご送付下さい。

科学技術研究助成候補者

1. 候補者の対象：科学技術の基礎的な研究に従事し、その研究の成果がわが国科学技術の進歩、発展に対し貢献するところが大きいと考えられる研究を行なっている研究者またはそのグループ
2. 研究助成金：総額 1 億 2 000 万円以内 1 件 1 000 万円程度とする。
3. 応募方法：} 前記のとおり
4. 締切期日：} 前記のとおり

第9回水理講演会講演募集

第9回水理講演会は、来年2月、東京において開催されます。講演ご希望の方はつぎの要領によりふるってご応募下さい。

1. 日 程：1965年2月12日(金)、13日(土)
2. 会 場：東京(未定、決定次第会告にてお知らせします)
3. 内 容：講演会およびセミナー
4. 形 式：講演会は従来通り課題による講演発表とし、これに一般報告形式を加味する予定、セミナーの課題は「河川災害の予知」とし、指定された担当者の作成せる資料を当日配布する。
5. 講演会課題：a) 開水路の不定流
b) 水理構造物に関する流れの問題
c) その他(自由)
6. 講演申込期日：1964年10月20日(火)
7. 講演集原稿締切：1964年11月16日(月)
8. 講演原稿：1題目につきオフセット印刷用原稿用紙6枚(1枚は1480字詰、図表、写真をふくむ)以内を厳守して下さい。題目申込み次第所定の原稿用紙をお送りします。原稿通りにタイプで打ち直しますので、図面、写真は別添として、原稿中のそう入箇所に必要な余白をあけて下さい。図面および複雑な表はトレーシングペーパーに必ずスミ入れして下さい。
9. 申 込 先：東京都新宿区四谷一丁目 土木学会水理委員会係

昭和39年土木学会制定 トンネル標準示方書訂正について

先に刊行したトンネル標準示方書は現在解説編を作成中ですが、本文につきのような誤りがありましたので下記のように訂正いたします。

ページ	行	誤	正
3	6	河川形	河川形態
3	18	詳細な調査の必要がある場合には、詳細踏査、物理探査、ボーリング、	詳細な調査の必要がある場合には、詳細な踏査、物理探査、ボーリングおよび
3	24	物理探査に際しては、目的と地質に応じた探査方法を用い、探査用の測線	物理探査に際しては、目的と地質に応じた探査方法を用い、測線
4	1	……目的と地質に応じた……	……目的と岩質に応じた……
5	3	…予想される集中的な湧水を安全、適切に処理するために、次	……予想される集中湧水は、次
5	9	(2) 施工中の予想される恒常的な湧水の排水工の設計のために、次の項目	(2) 予想される恒常的な湧水は、次の項目
8	3	包含し、地圧……	包含し、土圧……
10	6	……、沈下、変状、転倒ねじれ、な	……、沈下、変状、転倒、ねじれな
13	下から 1	……包含して、地圧に……	……包含して、土圧に……
14	下から 1	湧水場合、……	湧水のある場合、……
15	15	……、地質、坑内基礎……	……、地質、基礎……
26	15	(1) 坑内は……	(1) 坑門は……

第14回応用力学連合講演会

例年のとおり標記の講演会が日本学術会議力学研究連絡委員会、ほか関係8学協会の共催により行なわれますが、紙面の都合上、土木学会受付の11編をばっすいしてお知らせいたします。全体のプログラムをご希望の方は、土木学会あてお申し込み下さい。

1. 日 程：1964年9月7日(月)、8日(火)
2. 場 所：京都大学工学部機械工学科講義室(京都市左京区吉田本町)
3. 講演部門：(第I部) 固体(弾性学、塑性学、粘弾性学、構造力学、材料強度、土質力学、摩擦など)
(第II部) 流体(流体力学、空気力学、電磁流体力学、水理学、気象学、潤滑など)
(第III部) 熱(熱・熱力学、伝熱、物質輸送、熱機関、燃焼など)
(第IV部) 一般(一般力学、振動、波動、応用数学、自動制御、組織工学、計算機など)
4. 日 程 表：(I)、(II)、(III)、(IV)は講演部門を示す。

開催日	時刻	学術講演・特別講演・懇親会		
		第 1 室	第 2 室	第 3 室
9月7日(月)	9.30~12.00	(I) 101~107	(II) 201~207	(IV) 401~407
	13.00~14.00	特 別 講 演		
	14.10~14.50	特 別 講 演		
	15.00~17.30	(I) 108~114	(II)(III) 208~211	(IV) 408~414
	18.00~20.00	懇 親 会		
9日8日(火)	9.30~12.00	(I) 115~121	(II) 212~218	(IV) 415~421
	13.00~14.00	特 別 講 演		
	14.10~17.00	(I) 122~128	(II) 219~225	(IV) 422~429

5. 特別講演：会場：101番講義室

開催日	時刻	題 目・講 演 者	
9月7日(月)	13.00~14.00	ヒマラヤのアイス・フォールと氷河の流動	大阪大学工学部教授 工博 篠田 軍 治
	14.10~14.50	治水・防災の話題	京都大学工学部教授防災研究所長 工博 石原 藤次郎
9月8日(火)	13.00~14.00	Hydromagnetic Shocks and Ionizing Shocks	コロンビア大学教授 C.K. Chu

6. 懇 親 会：9月7日(月) 18.00~20.00 京都大学楽友会館 会費 500円

8月25日(火)までに会費を添えて、社団法人日本機械学会(東京都港区赤坂一ツ木町 89 日本規格協会ビル内)にお申し込み下さい。

7. 講演論文抄録集：

下記により講演論文抄録集(前刷)を実費で予約頒布いたします。例年のとおりオフセット印刷のため部数に限度がありますから、なるべく早目に代金を添えて所属学協会にお申し込み願います。

種 別	内 容	講演題数	定価(送料とも)
第 I 部	弾性学、材料力学、構造力学、塑性学、土質力学、材料強度	28 題 101~128	300 円
第 II 部 第 III 部	空気力学、流体力学、気象学、潤滑 水理学、熱、熱力学、燃焼等	27 題 201~225 301~302	300 円
第 IV 部	応用数学、一般力学、振動、波動、計算機、自動制御	29 題 401~429	300 円

申込締切期限：8月25日(火)までに所属学協会着信のこと(期限後のお申し込みに対しては、ご希望にそいかねる場合があります)

8. 土木学会受付講演 :

期 日	会 場	番 号	時 間	題 目・講 演 者
7 日	1 室	102	9.50~10.10	片持床板の板端部における曲げについて 大阪工大 岡村 宏一・○松井啓之輔
		106	11.20~11.40	偏心モーメント荷重をうける円板の解について 東北大工 佐武 正雄
		107	11.40~12.00	直交異方性変厚板のタワミおよび曲げモーメントについて 京大工教養 米 沢 博・○三上 市蔵
	2 室	108	15.00~15.20	剛度の変化する平板理論の応用について 北大工 ○芳 村 仁・本多 祐也
		111	16.00~16.20	空間部材の3次元たわみ角式 九大工 山崎 徳也・九大大学院 ○太田 俊昭
	3 室	203	10.10~10.30	突風率(瞬間最大値と評価時間の関係)について 電力中研技研 日野 幹雄
		206	11.20~11.40	調速機およびサージタンク系の安定理論について(2) 九州電力 村瀬 次男
8 日	1 室	410	15.40~16.00	よりあるいはラーメンとトラスとを組合せた構造物の動的および静的解析法について 熊本大工 吉村 虎蔵・○平井 一男
		126	15.40~16.00	RC,PC 桁断面急変部のひびわれについて 早大理工 神 山 一・早大大学院 ○岡田 武二
	3 室	415	9.30~ 9.50	砂質地盤中における爆破源からの地震動について 自衛隊施設 狩俣 恒一
		416	9.50~10.10	波動による底質の移動限界について 防衛大 真嶋 恭雄・池内 正幸・○重村 利幸

第8回材料試験連合講演会開催

日本学術会議材料試験研究連絡委員会および関係学協会の共催により標記の講演会が下記のとおり開催されますので多数ご参加下さい。なお、土木学会関係の講演は下記のとおりです。プログラム、その他詳細を知りたい方は土木学会事業課へご連絡下さい。

1. 日 時: 1964年9月9日(水), 10日(木)の両日
2. 場 所: 京都大学工学部共同第1講義室・共同第2講義室
3. 講演部門: 第I部金属材料・第II部非金属材料・第III部一般
4. 日 程:

第 1 日	9月9日(水)		第 2 日	9月10日(木)	
	第 1 会場	第 2 会場		第 1 会場	第 2 会場
9.10~12.00	I (1~8)	II (1~8)	9.10~12.10	I (18~25)	III (5~12)
13.00~14.00	特別講演	(第1会場に合流)	13.00~17.50	I (26~38)	III (13)
14.00~17.30	I (9~17)	II (9~14) III (1~4)			I (39~51)
18.00~20.00	懇 親 会		備考: 第1日 第1会場は 17.10 終了 第2日 第1会場は 17.30 終了		

5. 特別講演: 9月9日(水) 13.00~14.00 第1会場

あいさつ
鋼中の炭化物と熱処理によるその変化

日本学術会議材料試験研究連絡委員会委員長・京都大学名誉教授 西原利夫
名古屋工業大学学長 佐藤知雄

6. 土木関係題目:

II-3 9.50~10.10	飽和粘土の一次元圧密における側圧変化と間げき水圧の挙動について	京都大学工学部 赤井 浩一・足立 紀尚
II-4 10.10~10.30	一次元圧密をうけた飽和粘土の強度特性について	京都大学工学部 赤井 浩一・足立 紀尚
II-5 10.40~11.00	鉄筋コンクリート部材のひびわれによる鉄筋露出長さの測定	早稲田大学理工学部 神 山 一
II-6 11.00~11.20	せん断および圧縮または引張力をうけるコンクリートの強さ	早稲田大学理工学部 神 山 一・中条 友義
II-7 11.20~11.40	収縮拘束実験から求めたコンクリートの伸び能力について	小野田セメント 波 木 守・大塩 明
II-8 11.40~12.00	高温養生したコンクリートの諸強度におよぼす単位セメント量およびスランプの影響について	小野田セメント 河野 清・江村 建三・木下 幸一
II-9 14.00~14.20	コンクリートの熱拡散率, 熱伝導率, および比熱に関する研究	函館高専 徳田 弘・電力中央研究所 伊藤 勉

7. 懇 親 会: 9月9日(水) 18.00~20.00 京都大学楽友会館 会費 600円

8. 講演前刷: 第I部(金属材料 51題) 500円(送料とも)

第II・III部合冊(非金属材料・一般 27題 400円(送料とも))

9. 申 込 先: 京都市左京区吉田泉殿町1の101 日本材料学会連合講演会係(電話 京都 77-1912)

クイ打ち作業標準説明会開催

昭和 39 年 3 月 5 日付で JIS A 7201「遠心力鉄筋コンクリートクイのクイ打ち作業標準」が制定されたのを機会に標記の説明会が、工業技術院・コンクリートボールパイル協会主催、ほか関係団体の協賛によりつぎのとおり開催されますので多数ご参加下さい。

1. 日 時・場 所：1964 年 9 月 17 日（木） 札幌会場：自治会館
1964 年 9 月 29 日（火） 名古屋会場：名古屋市公会堂
2. 講師および演題：

① 日本工業規格	工業技術院標準部 木 下 亨
② コンクリート クイの性質	小野田セメントKK中央研究所 杉 木 六 郎
③ クイ打ち作業標準	大同コンクリート工業KK 綾 亀 一
④ クイ基礎	KK竹中工務店技術研究所 遠 藤 正 明
⑤ クイの支持力	北海道開発局土木研究所 宮 川 勇（札幌のみ）
⑥ 建築基礎とクイ打ち	建設省中部地方建設局 橋 本 敏 秀（名古屋のみ）
3. 聴講予定人員：札幌会場 300 名
名古屋会場 700 名
4. 申 込 先：札幌会場 札幌市北 2 条西 2 丁目
北海道コンクリート工業KK内 コンクリートボールパイル協会
名古屋会場 東京都中央区銀座 4 の 5
三福ビル 7 階 コンクリートボールパイル協会
5. そ の 他：聴講無料・なお、テキストは 300 円で用意してありますので上記へ申込先へご連絡下さい。

構造用軽量コンクリート シンポジウム 開催について

日本 A.C.I. では先にお知らせしましたように標記のシンポジウムを開催いたします。講演申込みは去る 6 月 30 日に締切り目下シンポジウム委員会にて集まった申込みを整理中ですが、日時・場所・その他が下記のとおり決定しましたのでお知らせします。

1. 日 時：1964 年 11 月 26 日（木） 9.30 より
 2. 場 所：発明会館ホール 東京都港区芝西久保明舟町 17
（大蔵省印刷局向い側）
 3. 論文提出者：
 - (1) 論文提出をお願いする方には 8 月上旬にご連絡致します。
 - (2) 論文は送付の所定の用紙（1400 字詰）4 枚までを原則としますが、特に希望の方は 2 枚まで追加できます。
 - (3) 論文提出期限は 9 月 30 日（厳守）に変更されました。
 4. 討論参加者：
 - (1) 討論参加希望者は 10 月 31 日までに事務局あて申込み下さい。
 - (2) シンポジウムの論文リストはコンクリート・ジャーナル第 2 巻第 5 号（10 月 10 日頃発行予定）に掲載します。
 5. 一般来聴：シンポジウム当日の一般来聴を歓迎致します。
 6. 論 文 集：論文集は論文提出者および討論参加者には 11 月上旬までに送付します。ただし、討論参加者には実費をご負担願います。一般来聴者にはご希望により会場で論文集をお頒け致します。そのほか論文集の予約もお受け致します。
- 参加および予約申込先：日本 A.C.I. 事務局 東京都中央区日本橋本町 3 の 5 ワカ末ビル ケンメイヤー技術株式会社社内
電話 (270) 3067

北海道支部行事案内

札幌市平岸北海道開発局土木試験所内（電札幌 83-4191）

（1）コンクリート講習会

土木学会北海道支部・日本セメント技術協会共催、北海道開発局・北海道土木部後援のもとに標記の講習会を開催しますので多数ご参加下さい。

1. 主 旨：コンクリート技術の基本的事項，最近の進歩，すう勢ならびに応用について講習する。
2. 会 期：1964年8月17日（月）～19日（水）の3日間
3. 会 場：札幌市北八条西丁目 北海道大学構内 北大クラーク会館
4. 受講料：500円（テキスト代を含む）
5. 受講申込み：参加ご希望の方は土木学会北海道支部へご連絡下さい。
6. 講演科目および講師

8月17日

- | | | |
|-------------------------------------|----------------------|---------|
| (1) セメントの最近の諸問題 | 日本セメント技術協会専務理事 | 田 中 太 郎 |
| (2) 最近のコンクリート工学，特に RC, PC, PRC について | 北海道大学教授 | 横 道 英 雄 |
| (3) 最近のコンクリート用骨材 | 北海道開発局土木試験所コンクリート研究室 | 林 正 道 |
| (4) コンクリートの配合 | 室蘭工業大学助教授 | 尾 崎 詔 詞 |
| (5) コンクリートの施工 | 日本セメントKK研究所 | 山 田 順 治 |

8月18日

- | | | |
|------------------------------|-------------------------|---------|
| (6) 高張力異形鉄筋の諸問題 | 北海道大学助教授 | 藤 田 嘉 夫 |
| (7) 舗装用コンクリート | 建設省土木研究所コンクリート研究室 | 伊 東 茂 富 |
| (8) ソイルセメント工法とその問題点 | 北海道開発局土木試験所第二研究部 | 小 山 道 義 |
| (9) 金山ダムコンクリートについて | 北海道開発局石狩川治水事務所金山ダム建設事務所 | 山 岡 勲 |
| (10) レザーミックスコンクリートとその使用上の問題点 | 札幌生コンクリートKK | 宮 下 寿 雄 |
| (11) コンクリート製品 | 小野田セメントKK中央研究所 | 杉 木 六 郎 |

8月19日

実習・映画・見学

（2）秋季見学会

1. 期 日：1964年10月1日（木），2日（金）1泊2日
 2. 見学先：金山ダム，野花南トンネル，その他
 3. 宿泊先：白金温泉を予定。
- 参加定員，参加料，スケジュールなどについては決定次第お知らせします。

西部支部行事案内

夏期講習会・見学会

1. 日 時：1964年8月20日（木）～21日（金）
21日は阿蘇由布院間九州横断道路見学
2. 場 所：南阿蘇国民宿舎（阿蘇下田駅下車）
3. 講 師：九州農政局・九州大学・熊本大学・宮崎大学・九州地方建設局・第四洗浄建設局・門司鉄道管理局・熊本県・道路公団福岡支社・九州電力より 11名
4. 申込・その他：下記へお問合せ下さい。
土木学会西部支部：福岡市渡辺通2丁目1街区 829
九州電力土木部内 電話 76-3031 内線 2427

関西支部行事案内

(大阪市天王寺区堀越町 110 番地 天王寺ステーションビル 4 階)
電大阪 (716) 7881 番 内線 366 番, 振替口座 大阪 82599 番)

関西支部年次学術講演会 (昭和 39 年度)

1. 日 時: 1964 年 11 月 15 日 (日) 9 時~17 時
2. 場 所: 神戸大学工学部 神戸市灘区六甲台町 1 電 神戸 (86) 0001, 1351
国電「六甲道」または阪急電鉄「六甲」より
市バス①「外大前」行で終点下車, 登り道徒歩約 10 分
②「六甲台」行で「鶴甲口」下車, 下り道徒歩約 3 分
③「六甲ケーブル下」行で「神戸大学前」下車, 登り道徒歩約 5 分で大学正門前通過後, 下り道徒歩約 5 分

プログラム, 講演概要の頒布およびその他の事項については学会誌 10 月号に登載の予定です。年次学術講演会に講演ご希望の方は, つぎの講演申込要領をご覧のうえ必ず 8 月 15 日 (土) までにお申し込み下さい。

年次学術講演会申込要領

1. 講演申込方法: 講演希望者は申込みカード (4 枚複写綴, 第 1 枚目・第 2 枚目・第 3 枚目は支部用, 第 4 枚目は講演者の控え) に部門, 題目, スライドの有無, 勤務先, 会員種別, 学位, 氏名 (連名の時は講演者に○印をつける), 卒業学校名および年次, 連絡先を明記のうえ, 8 月 15 日 (土) までに土木学会関西支部へ必着するよう提出して下さい。申込みカードは関西支部へ請求して下さい。
2. 講演内容: 講演は未発表のもので原則として 1 人 1 題にかぎります。
3. 講演時間: 1 題につき 20 分の予定です。
4. 講演部門: 講演部門は原則として, 土木学会論文集編集委員会の部会分類による予定ですから, ご希望の部門をお知らせ下さい。なお都合により部門を講演者の了承を得たうえで変更させていただくことがあります。
第 1 部門: 応用力学, 構造力学, 橋梁等
第 2 部門: 水理学, 水文学, 河川, 港湾, 海岸工学, 発電水力, 衛生工学等
第 3 部門: 土質力学, 基礎工学, 土木機械, 施工等
第 4 部門: 鉄道, 道路, コンクリートおよび鉄筋コンクリート, 土木材料, 都市計画, 空港, 測量等
5. 原稿提出要領: 講演申込者にはつぎの要領で講演概要の原稿を提出していただきます。
 1. 講演概要は講演者の原稿をそのまま縮写してオフセット印刷としますから必ず所定の用紙をご使用下さい。
 2. 用紙は執筆要領 (原稿の書き方) とともに講演申込者に関西支部からお渡しします。
 3. 原稿は 9 月 15 日 (火) (期限厳守) までに関西支部へ必着するようお送り下さい。
 4. 原稿の長さは 1 題目について 2 ページ (図, 表, 写真とも) を原則とします。特に超過する場合 (超過は 2 ページまでに限る) は 1 ページにつき 2000 円の製版料を申し受けます。
6. 講演概要: 講演者 (○印) には無料, 一般は有料, 抜制は講演者 (○印) には 30 部無料で差し上げますが, それ以上の取り扱いはいたしません。

(付) お知らせ: 38 年度講演会テキスト「水理公式集の解説と例題」の正誤表ができましたので, ご希望の方は返信用切手 10 円同封のうえ, 土木学会関西支部へお申し込み下さい。

研究船 (淡青丸) の共同利用研究について

東京大学海洋研究所は全国の海洋研究者の共同利用研究所として昭和 37 年 4 月発足し, 38 年 7 月, 研究船淡青丸 (258 G・T) が完成し, 本年度より共同利用に関する諸規程などが制定され 8 月下旬より実施することになりましたので, 詳細は土木学会総務課へご連絡下さい。